

(6) 都市再生整備計画評価委員会の審議

添付様式8 都市再生整備計画評価委員会の審議

| 委員構成 | | 実施時期 | 担当部署 | 委員会の設置根拠 | 委員会の母体組織 |
|-----------|---|---------------|------------------------|----------------------|----------|
| 学識経験のある委員 | 馬場先 恵子(金沢学院大学 教授) 小林 史彦(金沢大学 講師) | 平成25年10月1日(火) | 都市計画課 (都市再生整備計画担当課) | 金沢市都市再生整備計画評価委員会設置要綱 | 独自に設立 |
| その他の委員 | 半田 隆彦((社)金沢経済同友会理事) 東 良勝(金沢市町会連合会長) 森田 郁代(金沢市校下婦人会連絡協議会副会長) | | | | |

| 審議事項※1 | | 委員会の意見 |
|----------------|---------------------------|---|
| 事後評価手続き等にかかる審議 | 方法書 | ・特になし。 |
| | 成果の評価 | ・妥当であると認められた。 |
| | 実施過程の評価 | ・妥当であると認められた。 |
| | 効果発現要因の整理 | ・妥当であると認められた。 |
| | 事後評価原案の公表の妥当性 | ・特になし。 |
| | その他 | ・主要商業地の歩行者通行量(指標2)については、天候に左右される可能性がある指標であることに対して、今後検討を要する旨の意見があった。 |
| | 事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認 | ・妥当であると認められた。 |
| 今後のまちづくりについて審議 | 今後のまちづくり方策の作成 | ・ふらっとバスの連携性向上、まちなか定住の促進などに対する意見があった。 ・今後、まちなか居住や公共交通の充実を図っていくためにも、本計画における事業と、他の定住促進策などとの相互の連携を図るなど、関連事業との横断的な連携を図っていくことが必要であるとの意見があった。 |
| | フォローアップ | ・特になし。 |
| | その他 | ・特になし。 |
| | 今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認 | ・今後のまちづくり方策は妥当であると認められた。 |
| その他 | ・特になし。 | |

※1 審議事項の詳細は「都市再生整備計画評価委員会チェックシート」を参考にしてください。